



「ありがとう」をやりがいに

たにし ちさと
谷越 千里さん（南町）



Q ピピたく運転手のやりがいは？

利用者の皆さんが親切に接してくださり、毎日楽しく仕事に取り組むことができます。

利用者さんから「ありがとう」と感謝の言葉をいただくことが嬉しく、それが仕事のやりがいに繋がっています。

Q 利用者さんに安心してもらうために工夫したことは？

高齢者移動支援サービス（ピピたく）の事業が始まった当初は、一軒一軒訪問して事業の説明に伺いました。どのような事業なのか、どんな人が運転するのかを知ってもらうことで、利用者さんに安心して利用していただけたと思います、丁寧に説明することを心がけました。

Q 大変だったことは？

冬場の運転は特に大変でした。雪道や路面状況に気を配りながら、利用者さんに安心して利用してもらえよう、安全運転を心がけています。

（インタビュアー：谷口 雅浩）

「歩くからこそ見える発見」

さわだ いさむ
澤田 勇さん（東町）



Q 最近どんなことをしていますか？

Windows11 の新しい機能や無料ソフトの利用を楽しんでおり、11 年間続けているブログ（Facebook にもシェア）に載せることもあります。

Q 最近嬉しかったことは？

教え子の同期会に招待され道東の標津町に行ってきました。皆いいお爺ちゃん、お婆ちゃんになっていましたが、中学生時代に限り、昔話に花が咲きました。その後も手紙や電話をくれたり、比布町に立ち寄ってくれたりと交流が続き、「次は比布で開くよ」「元気でね」などの声をかけてもらい、嬉しいやら有難いやらです。

Q 議会に期待することは？

定年退職後、終の棲家として比布町にお世話になって、早や27年目になりました。

私は新しい地に赴任したら、歩くことでその地を知ることが大切にしてきました。「足で稼いでなんぼ」なんて時代遅れと言われるかもしれませんが、歩くからこそ見える新しい発見があり、町の現状や町民の要望を知り、その気づきを議会に反映してもらいたいです。

（インタビュアー：遠藤 ハル子）

編集後記



介護予防事業で「カラオケで合唱」「童謡で合唱」を指導しています。「一人では恥ずかしくて声を出せない」「懐かしい」「1月1日の唱歌は学校の登校日で、校長先生からありがたい話を聞いた」など唄も心も解放されて、「この次は昭和40〜50年代の昭和の唄もやって欲しい」との話が出ました。「嬉しかったら続けたい」「何かしたい事がある」そんな方たちと、比布町で幸せに暮らすためにも、皆様お互い様を続けていきたいと思っています。

今年の1月議会から「タブレットの導入」（ペーパーレス化）をしました。現代の機器を上手に生かして議会活動を進めています。紙を廃止することで町と議会で、これまで3万6000枚の節減、議会からの連絡もタブレットに送られ、かつ保存性に優れ、ツールとしても最高です。

6月議会は6人の議員が一般質問をしました。練り上げられた質問を今号でお読みください。

（遠藤 ハル子）



議会広報特別委員会

委員長 植西 浩一
副委員長 佐藤 良彦
委員 遠藤 ハル子
大熊 勝幸
谷口 雅浩